

「バイオものづくり革命推進事業」プロジェクトに関する意見

高砂香料工業株式会社 殿

令和6年12月6日

産業構造審議会 商務流通情報分科会 バイオ小委員会
バイオものづくり革命推進ワーキンググループ

本ワーキンググループで実施した議論を踏まえ、貴社におかれては、プロジェクト推進に当たって以下の点に留意のうえ、今後のモニタリングにおいて、その対応について報告されたい。

- ・ 経営のコミットメントに関して、経営側での課題感が見えにくい。現状で行き詰まっている点と解決の方向性も示していただきたい。
- ・ ルール形成や標準化に関しては事業の海外展開の視点を入れて検討すべき。
- ・ オープン&クローズ戦略について、特に、クローズ戦略の部分で、技術をノウハウとして秘匿化し、特許化はしないという方針を示されているケースが見られたが、社内での適切なノウハウ管理を行うことを前提としつつ、海外含む他社による知財化のリスクも勘案しながら開発を進めてほしい。
- ・ 先行して、自社基準を設け、積極的にブランディングを進めている点は評価。その上で、それらを標準化する、あるいは、他社との差別化を進める観点から、更に、一つ高い自社認証を設定することも有益と考えられ、是非検討をしてほしい。
- ・ グローバル市場獲得に向けて、特に、認証等がまだ進んでいない欧州など、米国の認証も参考にしつつ、連携可能な国や企業とともに、今後の方針等を検討してほしい。
- ・ 発酵法由来のフレーバー製品について、顧客への訴求点を整理した上で、今後の販売戦略を具体化すべき。

以上